*Kansai Geo-Symposium* 2025 論文・報告投稿申込み票

|  |
| --- |
| 1. 表題 |
| 和文 |  |
| 英文 |  |
| 本文の言語 | 　日本語　　　　　　英語 |
| 2. 著者名（名前は姓/名の順に記入ください）発表者に○を付けて下さい。 |
| 記入例 | 名前 | 　　地盤　　　太郎 |
| ヨミガナ | 　 ジバン　 タロウ |
| Name |  Jiban Taro |
| 勤務先・職名 | 地盤大学理工学部土木工学科・助手 |
| ヨミガナ | ジバンダイガクリコウガクブドボクコウガクカ・ジョシュ |
| Affiliation | Department of Civil Engineering, College of Science and Technology, Jiban University |
| (1) | 名前 |  |
| ヨミガナ |  |
| Name |  |
| 勤務先・職名 |  |
| ヨミガナ |  |
| Affiliation |  |
| (2) | 名前 |  |
| ヨミガナ |  |
| Name |  |
| 勤務先・職名 |  |
| ヨミガナ |  |
| Affiliation |  |
| (3) | 名前 |  |
| ヨミガナ |  |
| Name |  |
| 勤務先・職名 |  |
| ヨミガナ |  |
| Affiliation |  |

（著者が3名以上の場合は，同じ書式で欄を追加してください）

|  |
| --- |
| 3. 論文・報告要旨（300字程度） |
|  |
| 4.キーワード(5語以内　和文、英文両方書いてください) |
| 和文 |  |  |  |  |  |
| 英文 |  |  |  |  |  |
| 5. 論文のテーマ(該当するものに○をつけてください) |
| (1) | 地下水地盤環境や汚染に関する調査事例や予測・管理・修復技術 |
| (2) | 都市域の地下温暖化や地中熱利用 |
| (3) | 地下水流動・水循環・水環境（水位水質など） |
| (4) | 防災・減災対策，解析・予測推定手法（AI・データサイエンス） |
| (5) | 室内・現場試験，調査，施工技術，現場計測技術 |
| (6) | その他（最新技術，工事事例など） |
| （備考欄） |
| 6. 論文形式（査読の有無）(該当するものに○をつけてください) |
|  | 査読付き論文 |
|  | 査読なし報告 |
| 論文形式は，運営委員会，および査読者に帰属されます。当該シンポジウムでは投稿方法として「査読あり」「査読なし」のいずれかを申込時点で選んでいただきます。「査読有」を選択いただいた場合には，ご投稿いただいた論文を2名の査読者による査読審査の後，掲載決定の有無を個別にてご連絡致します。 |
| 7. 参加形式(該当するものに○をつけてください) |
|  | 口頭発表 |
|  | ポスター発表 |
|  | 口頭発表，ポスター発表どちらでもよい |
|  |

|  |
| --- |
| 8. 発表者(※は必須事項) |
| 発表者氏名※ |  |
| 郵便番号※ |  |
| 住所※ |  |
| 電話番号 |  |
| FAX |  |
| E-mail※ |  |
| 9. 連絡者(※は必須事項)　発表者と同じ場合は無記入でも構いません |
| 連絡者氏名※ |  |
| 郵便番号※ |  |
| 住所※ |  |
| 電話番号 |  |
| FAX |  |
| E-mail※ |  |
| 10. 著作権の帰属に関する確認事項 |
| * 著作権の帰属および取扱いは，地盤工学会「刊行物の著作権の帰属および取扱いに関する規程」の著作権分類Cによる記載例に準じ，当該刊行物の編集にかかわる著作権は地盤工学会及び地下水地盤環境に関する研究協議会（以下，本会という）に帰属し，個々の執筆部分の著作権と著作者人格権は執筆者に帰属するものとします。なお執筆者は，本会が第三者から複写に関する著作権利用の許諾申請を受けた場合および本会自らが論文集以外に利用する場合（電子媒体による利用を含む），これに関する著作権の行使を本会に許諾するものとします。また，これにより本会が著作権使用料等を得た場合は，本会の運営費に充当することを認めるものとします。ただし，執筆者自らが著作権を行使することは妨げません。
 |